臨時議会

平成二十四年第二回臨時議会は、七月二十三日招集されました。案件の大要は次のとおりです。

契約案件

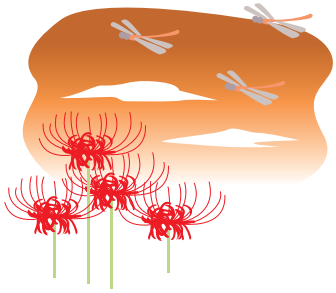
◆**動産の買入れに係る財産の取得について**（可決）

・取得品目
　消防ポンプ自動車　一台
・配置場所
　上市第3分団（立野）
・取得金額
　一六、二七五、〇〇〇円
・契約の方法　随意契約
・契約の相手方
　小川ポンプ工業㈱（大阪市）

その他の案件

◆**専決処分報告**（受理）

・**消防車の交通事故に係る損害賠償額を定め和解することについて**



町議会産業建設委員会町内視察

7月23日、産業建設委員会が各現場の視察を行いました。

左曽地区の旧ゴルフ場建設予定地跡地では、町が購入した126ヘクタールの土地の一部、約5ヘクタールに2メガワットのメガソーラー事業が計画されています。

メガソーラーとは、1メガワット以上を発電できる大規模な太陽光発電所のことで、現在全国各地で設置が進んでおり、吉野町でも来年の商業運転開始を目指して計画が進んでいます。

午後の視察は、上市のみどりの村で行われました。

みどりの村は、昭和60年3月から農業を通じた体験と憩いの場として都市との交流を図り、活力ある町づくりを推進することを目的に利用されてきましたが、施設の老朽化や観光農園が生活スタイルの変化に伴い利用者が減少してきたため、「農業の振興」を図ることを目的に、公共的スペースの有効活用を行う為の事業者を募集しました。

そして平成22年から進められている現在の主な事業展開は大きく分けて二つ。一つ目は山本ぶどう園によるビニールハウス等による野菜や果樹栽培で、もう一つは㈱山本きのこ園が事務所を大淀町から新規移転してのきのこ栽培です。

役場に到着後、委員会室で今回の視察について協議と総括が行われました。

メガソーラー事業計画の現地説明

徹底した品質管理に拘るきのこの作付説明

2012年度「機械遺産」吉野山ロープウェイ認定

一般社団法人日本機械学会は、日本国内に現存する歴史的に意義のある「機械遺産」5件を選定し、8月7日「機械の日」に認定しました。この認定は、2007年に学会創立110周年を記念して発足した事業で、これまで50件を認定し、今年で6回目となります。

今回認定を受けた「吉野山ロープウェイ」は、1929年に旅客運送用として運行を開始した国内最古のものであり、当時の架線支持材や支柱の多くの部分が80年以上経過した今でも現役で使用されているなど、当時の材料力学、金属材料技術の優秀さを示す証といえます。

運営する吉野大峯ケーブル自動車㈱の内田代表取締役は「これまでの施設管理・維持に尽力されてきた先人の功績が認められました。我々スタッフもそれに負けない様に努力していきたいです」と語られました。

全日本小学生バレーボール県大会 YSC国栖フェアリーズ優勝 全国大会へ初出場!!

ファミリーマートカップ第32回全日本バレーボール小学生大会奈良県大会の県決勝大会が6月30日、桜井市の芝運動公園総合体育館でトーナメント形式で行われ、YSC国栖フェアリーズが持ち前のサーブ力とチームワークで優勝しました。

10年前、『バレーボールがしたい』という子どもたちが集まってチームが発足し、以来練習に練習を重ねて初の全国大会出場の切符を勝ち取りました。

全国大会は8月7～10日川崎市とどろきアリーナで開会式を終え、4箇所の会場に分かれて試合を開催、フェアリーズは決勝大会進出こそなりませんでしたが、予選リーグで1勝をあげるなど、力一杯プレーしていました。